

第164号

2024.2
(令和6年)

ひこね 市議会だより

令和5年11月定例会

(11月27日～12月18日)

- 特集 子ども議会 …………… 2～5
- 11月定例会で決まったこと …… 6～10
- 個人質問 …………… 11～20
- 常任委員会視察 …………… 21～23
- お知らせ …………… 24



子ども議会を開催しました
令和5年11月18日(土)

第14回 子ども議会を開催しました。

彦根市の未来を担う子どもたちに、議員として質問や提案をすること
目的に子ども議会を開催しました。

第14回を迎えた今回は、市内17小学校の6年生24人が子ども議員と

を通じて、市議会や市の取組を身近に感じ、興味を持ってもらうことを

して参加しました。

8月2日 事前研修会

事前研修会では、子ども議員選出書の交付を受け、
子ども議員として第一歩を踏み出しました。
その後、市議会や市役所の仕事についての説明を受
け、議会で質問する内容の作成に励みました。



11月11日 リハーサル

議場開放促進委員から、議場への入退場時は必ず一
礼をすることをはじめ、議長の議事進行に従い質問を
する手順を学びました。
初めての議場に緊張と戸惑いを見せながらも、本番
に向けて練習を重ねました。



本番さながらの緊張感



議長から議事の進め方の説明を受ける子ども議長



教育委員会の指導主事の先生方が丁寧に指導！



子ども議員が市役所の仕事について直接、市職員から説明を受ける場面も

議長選出緊張の瞬間！



第1グループ

1番 佐和山小学校 宮崎 稜人さん
「冬に大きな一大イベントを開きたい
ことについて」



2番 河瀬小学校 林 紗江さん
「タブレットを使いやすいように机を
広くすることについて」



3番 稲枝東小学校 大菅 征哉さん
「小学校の設備を良くしてほしい」



4番 佐和山小学校 伊藤 咲和さん
「福祉医療費助成を中学3年生までに」



5番 平田小学校 平石 優樹さん
「読書通帳をはば広く使うことにつ
いての提案」



6番 稲枝西小学校 伊藤 二胡さん
「琵琶湖のゴミ問題について」



7番 河瀬小学校 栃山 大翔さん
「彦根市の福祉サービスの充実を」



8番 高宮小学校 堀田 悠介さん
「彦根城を世界遺産にするために」



11月18日本番!



当日は、3つのグループにわかれて質問しました。
なかには、質問をよりわかりやすく説明するために
感のある子ども議会となりました。



パネル等を作成するなど、本会議さながらの緊張



傍聴者の“声”

自分の質問だけでなく、他の子ども議
員への答弁を聞き、市政や自分たちを
取り巻く環境への興味関心を深める
良い経験になりました。

子どもたちの目の付け所が大人とはま
た違って、非常に興味深かったです。

第3グループ

17番 城北小学校 中嶋 元人さん
「こう衣室の設置について」



18番 城東小学校 菅居 咲希さん
「タブレットで教科書を見られるように」



19番 若葉小学校 上田 莉緒さん
「児童が少ない学校の1年生を増やす
ために」



20番 金城小学校 堀部 晃史さん
「新しい競技場でみんなが参加できる
運動会を」



21番 旭森小学校 河村 朱蓮さん
「市長の公約はいつどのような形で果
たされるのか」



22番 金城小学校 田村 侑晏さん
「ゴミ箱を設置してきれいなまちに」



23番 城北小学校 林 璃皇さん
「通学路のガードレール設置について」



24番 鳥居本小学校 大城 環希さん
「中学校の部活動について」



第2グループ

9番 城南小学校 村松 愛彩さん
「議員の方々は会議以外の時、どのよ
うなお仕事をしているのかについて」



10番 亀山小学校 西澤 悠希さん
「プールに屋根を設置してほしい」



11番 城西小学校 三浦 七美さん
「学校図書指導員さんの配置について」



12番 稲枝北小学校 赤田 煌羽さん
「稲枝の地域のみんで仲良く～小中
一貫の実現に向けて」



13番 城南小学校 村上 愛唯さん
「信号無視や信号機の音について」



14番 城陽小学校 出口 翔梨さん
「市の医療について」



15番 亀山小学校 荒金 快知さん
「私たちの身の回りの環境について」



16番 稲枝北小学校 福原 徳さん
「学校のグラウンドに人工芝を設置す
ること」



子ども議員の“感想”

- ① 私たちの提案や質問をきっかけに少しでも
良い生活や環境になればいいなと思いま
した。
- ② 他の子ども議員の意見をきいていると、
本当にそうならいいなと思う意見がた
くさんあり、すごく勉強になりました。
- ③ 子ども議会に参加して、普段議員さんた
ちがどのように議論しているかが分か
りました。

子ども議員の“感想”

- ① 私達が政治について触れる貴重な時間を
過ごすことができました。
- ② 緊張感がある中で自分の提案を落ち着
いてしっかり伝えられてよかったです。
- ③ 子ども議員になる前は、市の様子や改善
点を考えることがほとんどなかったで
すが、今回参加して、市についてじっ
くり考えることが出来ました。

11月定例会の結果

11月定例会の結果

12月18日(月)に閉会した11月定例会の結果についてお知らせします。
 予算関係6件、条例関係9件、その他議案2件を原案のとおり可決しました。
 また、請願1件を不採択とし、決議案1件を可決しました。

11月定例会 議案の審議結果

会期：11月27日(月)～12月18日(月)

■全員賛成で可決した議案等

項目	番号	件名
議案	84	令和5年度(2023年度)彦根市一般会計補正予算(第6号)
	85	令和5年度(2023年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	86	令和5年度(2023年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)
	87	令和5年度(2023年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)
	88	令和5年度(2023年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第1号)
	90	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案
	91	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市病院事業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例案
	92	彦根市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当および費用弁償に関する条例および彦根市第2号会計年度任用職員の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案
	93	彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案
	94	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	95	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案
	96	彦根市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
	97	夢京橋あかり館の設置および管理に関する条例を廃止する条例案
	98	彦根市中地区公民館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	99	彦根市稲枝地区公民館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて
		100
決議	1	ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	27, 35	損害賠償の額の決定について
	28	和解および損害賠償の額の決定について
	29~34	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について

■賛否が分かれた案件

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村	
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	勝	博雄	
議案	89	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	5	彦根市の今後の文化行政のあり方に関する請願書	不採択	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○



このような討論がありました

討論の対象議案 議案第89号 「彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案」

特別職等の期末手当の改定はその必要性和根拠を明らかにした上ですべき。市民生活が厳しい中で増額は理解を得られないため反対。

反対

討論の対象議案 請願第5号 「彦根市の今後の文化行政のあり方に関する請願書」

賛成

彦根の文化振興と継承に関わる市民の方々の思いに寄り添い、議員の責務として市民の思いを市政に届けるため賛成。

提示の維持管理料なら市長のマネジメントの範ちゅう。市民の文化活動の継承発展のため、請願の趣旨は必要であり賛成。

他の事例に学び、文化プラザの活性化を第一に考えることこそが、執行部の言う総合的に考えることであり賛成。

映画の大学を誘致する計画の選択肢を削り、可能性を制限する結果を招くのではないかと懸念することから反対。

反対

討論の対象議案 決議案第1号 「ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議案」

賛成

軍で戦闘を即時停止させ、引き続き話し合いで戦争を終わらせるよう、日本からも多くの声を届ける必要性を付け加え、賛成。

人質として拉致されたり、戦闘で子どもを含む多くの人の命が奪われる惨状から、本議会の良識を示すため賛成。

決議案第1号について、全議員が提出者・賛成者となり 全会一致で可決

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

パレスチナ自治区ガザを支配するイスラム組織ハマスがイスラエルへ越境し襲撃したことによりイスラエル軍との武力衝突が始まり2か月以上が経過した。双方の応酬は、ガザ地区において多くの一般市民、特に子どもたちに大きな犠牲が生じていることは悲惨でその苦痛は想像を絶するものである。

このような事態を受け、11月8日に開催された先進7か国（G7）外相会合が、イスラエル各地に対するハマス等によるテロ攻撃およびミサイル攻撃を断固として非難することや、全ての人質の即時解放を求めることを確認するとともに、ガザ地区において悪化する人道危機に対応するため、戦闘の「人道的休止」および「人道回廊」の設置への支持に関し声明を発表した。また、11月15日には緊急の国連安全保障理事会が開催され、ガザ地区の子どもの人道状況を改善するために戦闘の休止を求める決議が採択された。

ガザ地区での人道危機の改善に向けては長期にわたる戦闘の人道的休止の維持および事態の早期沈静化が必要であり、国連やG7の認識と考えを一にするものである。

本市議会としては、このたびの紛争に対して、市民と共に、次に掲げるとおり一刻も早い事態の解決、紛争の終結を求めるものである。

- 1 戦闘行為の人道目的での休止および一般市民への非人道的行為の禁止
- 2 前提条件無しに全ての人質の即時解放
- 3 人道危機の悪化を防ぎ改善を図るため、国際法に基づき、事態の早期沈静化と人道支援物資の供給

以上、決議する。

令和5年（2023年）12月18日



一般会計補正予算の主な事業

ひこにゃん商標管理事業

40万円

ひこにゃん商標の使用許諾件数が当初の見込みを上回るため、商標管理に必要となる経費です。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額
 ・ひこにゃん商標管理業務委託料 411万7千円 - 371万7千円 = 40万円



▲今年度新たに制作された招き猫のポーズをしたひこにゃん

湖東定住自立圏病児・病後児保育事業

500万6千円

医療法人に運営委託している病児保育室の利用者が当初の見込みを上回るため必要な経費で、国庫支出金、県支出金および諸収入をもって賄います。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額
 ・病児・病後児保育委託料 1,649万9千円 - 1,149万3千円 = 500万6千円



市民税（個人）賦課事務事業

387万2千円

令和6年度から導入される森林環境税に対応するため必要となる経費です。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額
 ・システム変更委託料 605万円 - 217万8千円 = 387万2千円



文化財保護事業

2,100万円

特別史跡彦根城跡内における夜間公開に合わせて観光客等を呼び込む活動を企画する事業者に対し補助を行うため必要な経費で、全額企業版ふるさと納税寄附金で賄います。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額
 ・彦根城夜間公開活用事業費補助金 2,100万円 - 0円 = 2,100万円

物価高騰対応重点支援給付金支給事業

7億8,596万7千円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を特に受けている低所得世帯（令和5年度住民税均等割非課税世帯）に対し給付金を給付するとともに、実質的に住民税非課税と同等の状況にある世帯（所定の期間に家計が急変し、直近の収入が非課税相当の水準に下がった世帯）に対し同様に給付金を給付するもので、全額国庫支出金をもって賄います。

・給付額 1世帯当たり7万円

予算常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、12月8日(金)、18日(月)に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第84号、議案第85号、議案第86号、議案第87号、議案第88号、議案第100号

【主な質疑】

- 議案第84号に対して
 - Q ひこにゃん商標管理事業における許諾件数の増加要因は。
 - A 令和4年10月から商標使用料無償化の実証実験に伴い、飛躍的に申請件数が伸びている。また、新たなひこにゃんイラストを順次増やしていることや、全体的に観光需要が回復していることも要因の一つと考えており、今後も伸びる見込みがある。
 - Q 夢あかり館運営管理事業800万円の積算根拠は。

- A 指定管理の期間が4年間のところを2年を残して閉館するに当たり、その2年間で得られたであろう営業利益の一部を補償するもの。金額については相手と協議し、決定した。

【主な討論】

- 議案第84号に対して
 - 賛成 本件には人事院勧告に伴う職員の賃金の改善が盛り込まれており、物価高騰が続き多くの人が生活に苦労している中、若い職員や会計年度任用職員等の賃金が改善されることは評価できることから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案等議案3件を可決、請願1件を不採択

市民産業建設常任委員会は、12月11日(月)に委員会を開催し、3件の議案および請願1件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案93号、議案第96号、議案97号
- ・請願第5号

【主な質疑】

- 議案第93号に対して
 - Q 医療助成の内容は。
 - A 新たに高校生世代を追加するもの。このことにより、乳幼児から高校生世代まで、入院・通院の保険適用の部分については所得制限なく助成できることになる。
- 議案第96号に対して
 - Q 区分変更によって彦根市の財源としての収入はどれくらい増えるのか。
 - A 令和4年度決算を元にして試算すると約336万円の増である。
- 議案第97号に対して
 - Q サウンディング調査が終わり、いつ頃事業者が決まるのか。
 - A 令和6年3月頃に公募型プロポーザルを実施したい。

【主な討論】

- 請願第5号に対して
 - 反対 現在は、専門職大学を設置する候補地の一つであり検討段階である。この時点で本請願を審査することが、相手先の選択肢を狭めてしまうのではないかと懸念する。厳しい財政の中、今後の維持管理費が10年で35億円。できる限り市民の皆様に負担をかけないことが大切である。
 - 賛成 市民憲章にもあるように文化の香り高いまちをつくる。その一番根幹を担うのが文化プラザである。修繕等の費用は文化プラザ単体で見るとはならず、彦根市の総合的な公共資産の管理の中で見るべき。この請願は、個人的利益のために意見を述べているのではなく、専門職大学誘致を初め、市行政の今後のあり方を一緒に考えるための提案である。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第5号は不採択

企画総務消防常任委員会

彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案等議案3件を可決

企画総務消防常任委員会は、12月12日(火)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案89号、議案第90号、議案92号

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

議案第98号、第99号はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会は、12月13日(水)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議第98号、議案第99号

【主な質疑】

○議案第98号に対して

Q 評価について、1,400点満点中1,211点は高得点であるが、足りないところの指摘はあったのか。

A あえて言えば、職員の研修体制であるが、得点率は71.4%であり低いという認識ではない。

Q 申請団体数について、公募をしているにも関わらず、申請団体が1団体のみでよいのか。

A 結果的には1者のみの申請であったが、現地説明会には2者の参加があった。申

請団体は4期の実績があり、新たな参入は難しかったのだと考える。

○議案第99号に対して

Q 指定管理料について、管理団体の提示した管理料は。

A 年間903万5,000円で、4年間で3,614万円。

Q 公民館との連携について、公民館と教育委員会のつながりは。

A 生涯学習課に社会教育指導員を置き、各館を訪問して助言をしたり、意見交換を行ったりしている。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決



▲議場



▲議場ロビー

市政について
質す!

11月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。



配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。[\(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/\)](http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



八橋 龍二議員

Q 彦根駅前東口付近やベルロードの歩道が車道の舗装と異なる理由は

A 雨天時に水たまりができないように雨水を地下に浸透させる構造になっている



その他の質問

- ・舗装の違いによるメリットとデメリットについて
- ・このような歩道は他にはどこにあるのか

Q 車椅子やベビーカーで通行すると小石が弾け飛ぶことは把握しているか。

A 過去に市が施工した舗装については、経年劣化により剥離している状況を把握している。ベルロードについては、管理者である県において現地を確認のうえ対応いただくよう申し入れている。また市道に関しては、平時から実施している道路パトロールなどにより舗装状況を把握し、修繕対応するなど、安全・安心に通行いただけるよう適切に対応してまいりたい。

Q 積雪時の歩道について委託業者にどのような指導をされているか。

A 車道の除雪作業を優先的に行っており、交通障害が発生する恐れが予想される場合は、速やかに運搬排雪作業を行い、安全確保を行うように指導している。歩道は、補助制度を活用いただく等、地域でお願いしたい。



▲水たまりができない構造の歩道の舗装

個人質問



辻 真理子議員

Q 令和5年度中に彦根の花火大会は開催されるのか

A 令和5年度中の開催を目指して取り組んでいく予定



その他の質問

・選定療養費とは何か

Q 花火大会の主催団体を構成する団体は。

A 実行委員会はまだ立ち上がっていない。12月から観光交流課の人員増加を図っており、実施に向けて取り組んでまいりたい。

Q 令和5年度中に彦根の花火大会は開催されるのか。

A 令和5年度中の開催を目指して取り組んでいく予定。

Q 彦根市民全体がリアルに観覧できるのか。

A 市民をはじめ、多くの方に実際に見ていただけるような形での開催を検討している。

Q 市民全体への告知はどのようにするつもりか。

A 実行委員会が立ち上がり、花火大会の内容等が決定したら、市HPやSNS、広報ひこね等への掲載などを通じて、開催日や開催場所等をできるだけ速やかにお知らせしたい。



▲過去に開催された彦根の花火大会



林 利幸議員

Q 稲枝駅西側地区4haの土地について本市の描く将来像は

A 稲枝地域の方々が望まれる土地利用が実現できるよう努力する



その他の質問

・児童虐待の問題について

Q 高等専門学校、専門職大学の設置がかなわなかった稲枝駅西側地区の4haの土地開発について、地域の切実な願いは届いているか。

A 地域の切なる願い、期待の大きさは十分認識しており、土地利用の可能性について探っている。

Q 11月20日付で提出された「JR稲枝駅西側地区の開発について」という要望書に対しどう対応していくのか。

A 専門職大学の関連施設としての可能性が残る状況なので、担当課と情報共有をしながらその可能性を探りつつ地域の意見を尊重し土地利用の可能性を探っていく。

Q 考えておられる将来の姿は。

A 地域の方々に望まれる土地利用ができることが最良と考えており、そのような土地利用が実現できるよう努力する。



▲開発が待ち望まれる稲枝駅西側地区の現状



森野 克彦議員

Q 全中学校の軟式野球部の地域移行の現状と完了時期は

A 令和8年度には休日部活動の地域移行を完了するように努めていく



その他の質問

- ・大谷翔平選手からの野球グローブ寄贈時期とその取扱いについて
- ・姉妹城都市彦根市・高松市親善少年野球交歓大会について

Q 中学校の軟式野球部では満足に野球ができないとの意見があるが見解は。

A 試合と準備などの前後の活動を含めても、文部科学省が休日の活動時間として示している3時間程度に収まるため、満足に野球ができないとは考えていない。

Q 全中学校の軟式野球部の地域移行の現状と完了時期は。

A 本市における中学校の休日部活動の地域移行は、令和3年度からスタートした稲枝中学校区の実証研究に加え、今年度の11月からは市内中学校の水泳部と剣道部の地域移行の実証研究をスタートしている。軟式野球部、その他の部活動については、今後「彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会」で検討を重ね、令和8年度には休日部活動の地域移行を完了するように努めていく。



▲令和8年度に休日部活動の地域移行を目指す中学校の軟式野球部



馬場 和子議員

Q 「観光都市・彦根」の交通体系構築と利便性向上のためのスタンスは

A 交通渋滞の緩和を図り利便性向上のための組み合わせが必要である



その他の質問

- ・コロナ後遺症や帯状疱疹への市立病院の体制と対応は
- ・ひこね市文化プラザのあり方の検討は
- ・今冬の除雪への備えと体制は

Q 高速道路からはバスで彦根駅へ、彦根駅から四番町スクエアまではグリーンスローモビリティで、ご城下巡回バスは運行範囲を広げて佐和山コース等経由で城町界わいへ、中堀での屋形船と彦根での滞在時間を延伸し食事や宿泊などの経済波及効果にもつながる「観光都市・彦根」としての交通体系構築へのスタンスと利便性向上のために必要なことは。

A 過度に自家用車での移動に頼らず、歩いてゆっくり周遊してもらうことがふさわしく、移動したいときに渋滞に巻き込まれず目的地に円滑にたどり着くためにも、鉄道や路線バスなど既存の公共交通の接続を強化し、パーク・アンド・バスライドやグリーンスローモビリティ、ご城下巡回バスを組み合わせることで交通渋滞の緩和を図りながら市内中心部にアクセスしやすく周遊しやすい交通環境を目指すことが必要。



▲市内周遊の役割を果たすご城下巡回バス



中川 睦子議員

Q 農業の担い手育成事業に市の独自予算はあるのか

A 市の独自施策の予算はない



その他の質問

- ・市民参加型施設、市民農園をつくることについて
- ・ひこね市文化プラザは市民のための施設として運営されるか

Q 市の農業予算の推移は。

A 2022年度と2018年度を比較すると1億6,981万2千円の減額となり、減少傾向である。

Q 後継者をどのように育成、継承していくか。

A 本市では営農経営指導員が農業者に対し農業経営の助言を行っている。また、県では集落営農の推進や新規就農者への相談など、担い手育成に取り組まれている。

Q 全額国庫支出の担い手育成促進事業があるが、これまで市独自の予算はあるのか。

A 市の独自施策の予算はない。

Q 環境こだわり農産物の取組に全面支援で生産拡大をすべきでは。

A 「環境こだわり農業」における交付金は市が1/4（国1/2、県1/4）を負担している。新たに市独自の支援は考えていないが、環境こだわり農業の取組が増えるよう農業者に周知・啓発していく。



▲耕作されていない水田



奥野 嘉己議員

Q 文化プラザ メッセホール棟の吉田学園への賃貸の結論はいつまでに出るか

A ほぼ文化プラザ賃借の可能性はなく、年度末までに方向性を



その他の質問

- ・常勤特別職の期末手当増額について
- ・放課後児童クラブの空調機器の保守管理について

Q 9月議会時には未確認であった、借主である吉田学園のメッセホール棟賃貸に関する意向の確認は。

A 3回の面談を行い、文部科学省が定める校舎面積等の設置基準を満たせるか否かの検討を行った。また9月議会での論調を受け、他の候補案よりも可能性が低くなった。

Q 学生規模は、今まで通りの4学年で400名規模なのか。

A 採算面のこともあり、学生規模は400人となっている。

Q ほぼ可能性がないとの答弁があったが、いつ頃までには結論をつけるのか。

A 用途は令和6年6月であるが、令和6年4月に間に合わない利用者の利用計画に支障が生じるため、今年度中には一定の方向性を定めたい。



▲ひこね市文化プラザ



小川 隆史議員

Q 公共施設の効率的かつ効果的な運営のあり方の検討は

A 公共施設のあり方について定期的に見直しを行う

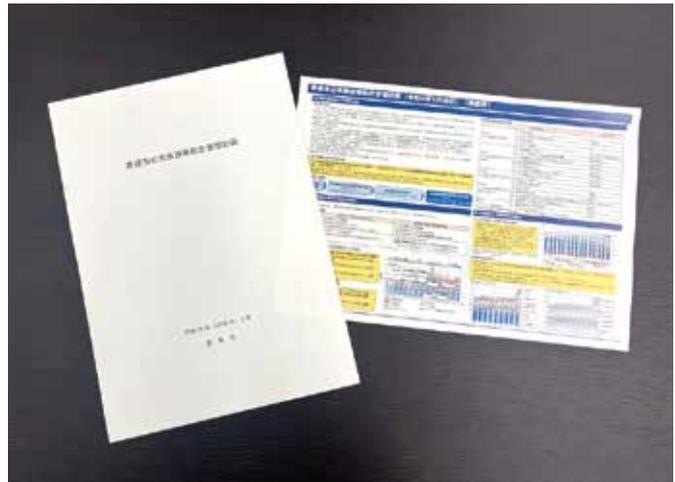


Q 公共施設の効率的、効果的なあり方の検討はいつするのか。

A 公共施設のあり方は、庁内横断的に加速して検討している。また、市長の指示のもと、定期的に見直し、可能なものは削減を図る。

Q 公共施設の民間委託・移譲といった運営体制の見直しを実施するのか。

A 公共施設が実際にどのように使用されているのかを調査し、公共施設の民間委託・移譲といった運営体制の見直しを行う。



▲彦根市公共施設等総合管理計画



小川 吉則議員

Q 市民が映画に興味を持ち、映画館に映画を観に行ってもらうには

A 幅広い市民参画による施策について検討していきたい



その他の質問

- ・重層的支援体制整備事業について
- ・茶の湯条例について
- ・アナーバー市との中学生の相互訪問について

Q 彦根市のロケ地としての魅力は。

A 本市のロケ地としての魅力は、彦根城を始めとする歴史文化遺産や豊かな自然環境などの映像資源に恵まれていることに加え、東京、名古屋、京阪神地域からのアクセスが良好であることが挙げられる。

鳥居本の「彦根オープンセット」については、様々な映画・ドラマ撮影に対応できる本格的なオープンセットであり、本市のロケ地として新たな魅力であると考えます。

Q 彦根市民が映画に興味を持ち、映画館に映画を観に行ってもらうためには。

A ロケ支援作品とタイアップしたイベント企画などを通して、市民に興味関心をもってもらい、「映画のまち 彦根」を、幅広い市民参画によるまちづくりの視点で展開できる施策についても検討していく。



▲映画「バッド・ランズ」公開パネル展



角井 英明議員

Q 地球沸騰化にふさわしいせん定とは

A 日陰のできる樹冠を保つせん定に努める



その他の質問

- ・「8050問題」について
- ・高齢者の移動権の保障
- ・ごみの不法投棄について

Q 街路樹のせん定方針は。

A 樹冠の整正、込みすぎによる枯枝の防止などを目的とする軽せん定を基本にしている。

Q 地域・住民からの要望は。

A 落葉拾いが大変で、落葉の前にせん定してほしい。大きくなり電線類に接触して危険なのでせん定してほしい。視界を妨げている枝葉をせん定してほしいなどの要望を聞いている。

Q ウォーカブルなまちにふさわしい街路樹とは。

A まちなかをクルマ中心からヒト中心の空間へと転換し、人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げることができるのがウォーカブルなまちで、そのようなまちにふさわしい街路樹とは、豊かな樹冠を形成して日陰を提供したり、美しい花や色鮮やかな葉を持ち魅力的な景観を形成するものである。



▲強せん定で枝葉を伸ばした街路樹

Q 地球沸騰化時代にふさわしいせん定とは。

A できる限り日陰を形成する樹冠を保つせん定となるよう努める。



安澤 勝議員

Q 鳥居本地先国道8号歩道設置進捗状況は

A 令和6年度着工。
令和6年度末の完成は難しい



その他の質問

- ・彦根市指定ごみ袋の不備の責任はどこにあるのか
- ・市内の農作物の被害状況について

Q 議案第84号道路新設改良事業の784万1千円の詳細は。

A 歩道が未整備である、つるやゴルフ店付近から鳥居本町北交差点までの1,130mの区間について国が事業化されている。市道内町三ツ割線は、歩道整備事業区間に含まれる鳥居本町南交差点から中山道までの100m区間において、狭あいな道路を拡幅するもの。

Q 鳥居本町南交差点より南方向の進捗状況は。

A 用地測量、土地境界の立会い、境界確定書類への署名押印手続を概ね終え、順次用地取得が行われている。令和6年度着工予定。

Q 完成予定は。

A 公函が混乱している区間も一部あることから、想定外に時間が必要。令和6年度末の完成は難しい。具体的な完成年度は改めてお示しする。

Q 鳥居本町南交差点から鳥居本駅間の進捗状況は。

A 想定より時間を要している。



▲拡幅が進む内町三ツ割線



黒澤 茂樹議員

Q 令和3年からの地域運動部活動の取組状況と成果および課題は

A 稲枝中学校では8つの運動部全ての休日部活動の地域移行が完了した



その他の質問

- ・彦根市における農業の担い手の現状および担い手育成・確保の方策について
- ・市内の土地改良区への支援体制について

Q 取組の概要は。

A 稲枝中学校では8つの運動部全ての休日部活動の地域移行が完了した。この間、稲枝地区学校支援協議会が事業実施団体となり、地域コーディネーターが中心になり、各部活動に複数の地域指導者を配置し、平日の部活動を担当する学校の顧問の先生と連絡を密にして活動を進めていただいた。

Q 地域運動部活動の成果は。

A 専門的な指導を受けられたことにより、生徒の部活動加入率や競技力が向上した。また地域指導者として関わる方の増加、教員の超過勤務時間の減少など教員の働き方改革が進んだ。

Q 課題は何か。

A 持続可能な活動とすると共に、適切な指導を維持するため地域指導者の育成と継承および部活動の地域移行に対する正しい認識を広げることである。



▲稲枝中学校運動部活動



疋田 菜穂子議員

Q グリーンスローモビリティは観光以外での活用は検討しているか

A 現段階では観光以外での活用は考えていない



その他の質問

- ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業について

Q グリーンスローモビリティ事業の目的は。

A 主に彦根城周辺での交通課題の解決、具体的には観光客の周遊性の向上を目的としている。

Q グリーンスローモビリティ導入による懸念点は。

A 彦根駅～彦根城地域においては、周辺交通への影響は少なかったが、彦根城周辺以外では一般車両と比較して速度が異なることによる渋滞発生等が懸念される。

Q コスト面での懸念は。

A 社会実験に用いた車両は一台当たりが3,000万円程度と高額であること。このほかに運転手の人件費や保険料がかかることが懸念される。

Q 観光以外での活用は検討しているか。

A 上記のような特性を持つ車両であることから、全市的な取組に活用することは困難であり、現段階では考えていない。



▲グリーンスローモビリティ





戸崎 克司議員

Q 妊娠、出産、育児と子育てに関する支援でガイドブック等はあるのか

A 子育ての情報を集約した『子育てガイドブック』を毎年発行している



その他の質問

- ・彦根城への観光客案内の分散化について
- ・彦根城に生息するシラサギ、カワウの対策について

Q 出産後の新生児訪問は。

A 新生児訪問は、「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体型実施事業」の開始に伴い、生後4か月までの間に全家庭に訪問し、保護者と面談することが必要となったことから、同事業と併せて実施する。

Q 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」の特徴は。

A 友人のように気持ちを受け止めて話を聴き、親と一緒に家事や育児を協働しながら過ごす伴走型の支援を行い、子育て家庭の支援に寄与されていると認識している。

Q 「ホームスタート」における支援推進事業や、国交付金や市町村の補助金の活用は。

A 国、県の動向を注視しながら検討を行うとともに、行政と地域が協働して子育て世代の支援に当たる体制づくりに努めていく。



▲彦根市の子育てガイドブック



和田 一繁議員

Q ひこね市長公式YouTubeチャンネル配信から見えた効果とは

A 幅広い世代の方に、彦根への関心を高めている



その他の質問

- ・彦根市中期財政計画について
- ・11月補正予算文化財保護事業について

Q ひこね市長公式YouTubeチャンネル配信から見えた効果とは。

A 「市政情報」や「彦根の魅力発信につながる市内の話題」など市長自らの言葉で、分かりやすく伝えることにより、市内外を問わず幅広い世代の方に、彦根への関心を高めている。

Q より多くの方に見てもらうための具体的な工夫とは。

A ホームページのトップページにおいて、「ひこねしちよーCH」のバナーを表示して、そこから誘導するとともに、「広報ひこね」においても、市長自らの言葉で、市政情報を分かりやすく伝えることを目的に令和6年1月号から「市長コラム」の掲載をスタートさせる。そこから「ひこねしちよーCH」へQRコードを通じて誘導していくことでより多くの市民の方にご視聴いただけるように取り組んでいく。



▲「ひこねしちよーCH」QRコード



中野 正剛議員

Q 現在の投票方法に更なる工夫をしては

A 移動期日前投票、投票支援カードについて検討していきたい



その他の質問

- ・ 带状疱疹ワクチン接種に助成を
- ・ 公共安全LTE(※)について
- ・ 食品販売業者と消費者のマッチングサービスを導入しては

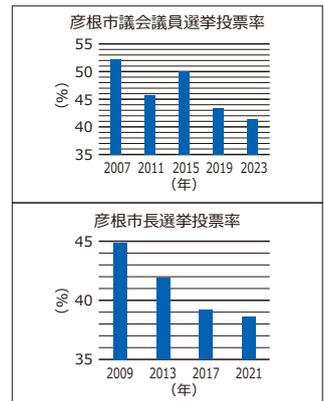
Q 移動期日前投票所を導入してはどうか。

A 投票所の統廃合により自宅から投票所が遠くなり交通手段の確保が難しい人への支援として導入されている事例があり、有効な手段の一つであると認識しているが、二重投票防止のための方法、事務に携わる人員体制、設備等の費用などに課題があることから、他の方法を含めて検討していきたい。

Q 投票支援カードの導入をしてはどうか。

A 現在、各投票所に、絵や文字で表示して指差しで意思を伝えることのできる「コミュニケーションボード」を準備し、聴覚に障害のある方等が投票所で支援を求めたいことを投票所の職員に伝えることができるようにしている。
投票支援カードについては、投票者が代理投票について容易に伝えられる方法なので、導入について検討していきたい。

※公共安全LTEとは、災害現場等において公共安全機関が共同で利用する無線システムのことです。



▲低下し続ける彦根市の投票率



伊藤 容子議員

Q 仮想空間の活用など含めオンライン教育の支援は

A 双方向型も状況に応じ進め、メタバースも先進自治体の研究を進める



その他の質問

- ・ 公平で質の高い教育に向けてのICT活用について
- ・ 省エネ化・再生可能エネルギー活用の促進に向けて

Q オンライン教育支援について、熊本市ではオンライン支援を実施し、今年1月からは仮想空間を活用して児童生徒の社会的自立支援の充実を図り、多くの子どもが参加しているそうだ。市のオンライン教育による支援は。

A 現段階は、希望により配信型のオンライン学習を行っている。グループ活動など双方向型のオンライン学習も、不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じ進めたい。メタバース(※)の活用も、先進自治体を参考に研究を進める。

Q 国では、広域でのオンライン教育の取組も進めている。本市においても広域で取り組んでは。

A 不登校児童生徒の状況は様々で、子どもの状況を知る学校の担当者がオンライン等で繋がるのが有効であり、広域での取組は考えていない。

※メタバースとは、多人数が参加可能で、参加者がその中で自由に行動できるインターネット上に構築される仮想の三次元空間のことです。

熊本市 不登校児童生徒の支援

- 総合支援センター 328-2743
- 教育相談室 362-3070
- 教室での支援 (学級支援)
- 別教室での支援 (個別支援)
- 学校の授業配信
- フレンドリー (フレンドリーな先生、先生、友達)
- フレンドリーオンライン
- フリースクール等
- ユア・フレンド(大学生による対話)
- スクールカウンセラー(心理の専門家)
- スクールソーシャルワーカー(福祉の専門家)

▲熊本市 不登校児童生徒の支援 オンライン教育・教育支援センター6か所・ユアフレンド等の様々な取組 (出典：熊本市教育委員会HP)



堀口 達也議員

Q 高齢者へのマイナンバーカード取得促進の考えは

A 出張申請サポートや申請手続きの簡素化を行う



その他の質問

- ・Jリーグ誘致への課題は
- ・観客数UPに向けた取組は
- ・照明クラウドファンディングへの協力は

Q 高齢者の申請状況は。

A 総務省公表では本市の保有率は73.8%。本市調べでは75歳以上の高齢者は68.2%と最も低い。

Q 高齢者の方へのお出張申請サポートの詳細は。

A 身体の不自由な方や移動手段がない高齢者を対象に、12月中旬から地区公民館や商業施設に出向き、申請サポートを行い、後日簡易書留で郵送する。またご自宅や福祉施設等を訪問し同様のサービスを実施。

Q 出張・訪問の頻度は。

A 3月末までに少なくとも出張申請は48回、訪問申請は24回実施予定。

Q 申請手続きの要件緩和、簡素化はできないか。

A 出張や訪問による申請を予約した方には、市があらかじめ申請書を作成し持参するため、記入箇所が減る。また、障害者手帳や要介護認定がない75歳以上の高齢者に対し、窓口での代理交付の要件が緩和される。



野村 博雄議員

Q 重点支援地方交付金の活用等による物価高騰や人件費上昇への対策は

A 情報収集に努め効果的な交付金の活用等今後対策を検討していく



その他の質問

- ・10代向けイベントの実施や中央図書館整備等の図書館の充実について
- ・相談会や補助金の拡充等更なる空き家対策の推進について

Q 国の今般の補正予算において物価高対策のため重点支援地方交付金が大幅に追加される等の動きがある中、本市の、市民や中小零細企業、開業医への物価高騰や人件費上昇への対策は。

A 令和5年1月から3月にかけて物価高騰の影響を受ける医療機関等の負担軽減のため、市内で開設されている一般診療所、歯科医院等に対して給付金を支給。また、これまでも一定の経済効果が得られたキャッシュレス決済ポイント還元事業を今年度も12月に実施する等している。議員指摘の重点支援地方交付金の追加については詳細が未定であるため情報収集に努め、本市の実情に加え国や他市町の動向を注視し、より効果的な交付金の活用等今後対策を検討していく。



▲令和5年12月にキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施

委員会による先進地視察を実施

福祉病院教育常任委員会

1 10月18日(水) 岡山県岡山市 「ICT教育の取組について」

岡山市は『誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」』を将来都市像として掲げ、教育の分野にも力を入れ、様々な取組を進めておられました。

その中の一つ、「岡山市ジュニアICTリーダー（OKA-JIL）プロジェクト」は、児童生徒が自分のよさや可能性を知り、持続可能な社会の創り手となることができるよう情報活用能力を育み、今後の岡山市のICTを活用した取組の中心的な役割を担う児童生徒の育成を目的として実施され、非常に貴重な学びの場となっていると思われ、本市においても非常に参考になりました。



2 10月19日(木) 山口県宇部市 「養育費確保サポート事業」



宇部市ではひとり親家庭等の自立支援の重点施策のモデル自治体として養育費確保サポート事業に取り組んでおられます。

具体的な養育費確保の支援としては、ひとり親家庭等相談窓口に自立支援員を配置、要件を満たした場合の弁護士の無料法律相談、公正証書作成手数料の補助等を実施されています。

養育費をもらうのは子どもの権利であり、親権がなくても養育費を支払うということが社会的通念となるよう行政として発信していくなど、財政の厳しい本市でもできることから始めていくことが大切なことだと感じました。

3 10月20日(金) 広島県東広島市 「重層的支援体制整備事業」

東広島市では、地域における専門職のつながりとして、コアネットワーク会議（支援会議）を毎月1回定期的を開催されており、専門職同士が顔見知りとなり連携を図りやすい土壌が作られています。また、コミュニティソーシャルワーカーが12名配置され各地域の様々な活動の立ち上げ支援をされ、地域づくり事業の大きな存在となっていました。本市においても、当該事業に係る体制は整えたものの十分に機能しているかの検討の余地があるため、東広島市の事例は大変参考となりました。



企画総務消防常任委員会

1 10月30日(月) 静岡県伊豆の国市 「移動式期日前投票所について」



伊豆の国市では、投票所の統廃合に伴って廃止された投票区の有権者への代替策として移動式期日前投票所を開設しております。事前に地元と協議のうえ開設の告知を行い、開設時間90分で合計3か所開設されますが、「明るい選挙推進協議会」という組織が平常時から選挙啓蒙活動を行うとともに、移動式期日前投票所での立会人を兼任しているとのことでした。
本市においては、各種選挙の投票率が低下し、期日前投票所の臨時設置も実施しているが、さらなる改善が望まれます。

2 10月31日(火) 東京都板橋区 「脱炭素社会の実現に向けた取組のうち庁内での取組について」

板橋区は全ての区民・事業者と共に脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現を目指すため、庁内でも率先して温室効果ガス削減活動を推進しておられました。
5つの柱を掲げられ区民にありたい姿を明確にし、わかりやすく庁内での取組を推進されていました。
既存公共施設の改修時のZEB(※)化や公用車の電気自動車、燃料電池自動車への置き換えは予算も必要であり当市として即今、取り組むことは厳しいですが、給水スポットの設置およびマイボトル運動の推進等は彦根市においても検討、導入の余地があるのではないかと考えます。



※ZEB（ゼブ）とは、省エネ対策により一次エネルギー消費量を削減した上で、再生可能エネルギー等の導入により、エネルギー収支をゼロにすることを目指した建築物のことです。

3 11月1日(水) 神奈川県秦野市 「秦野市総合防災システムについて」



秦野市総合防災情報システムでは、市民が主体的な避難行動を取る判断材料とするため、災害時の被害情報や避難所の混雑状況、道路の通行止めなどの情報をパソコンやスマートフォンから確認できます。
システムを有効に活用するための市民への出前講座を実施したり、職員が現場からリアルタイムの情報を発信できるように職員向けの操作研修を継続して実施するなど全庁的に「市民の安心を担保し安全を守る」という気概は素晴らしいものでした。

市議会では、議案などを専門的、能率的に審査するため、企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会を設けており、24人の議員全員がいずれかの委員会の委員に選任されています。
各委員会では、効果的な審査が実施できるよう、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる他の自治体を訪問し、調査研究を行っています。

市民産業建設常任委員会

1 10月30日(月) 福岡県福岡市 「市民農園事業について」

福岡市内には26か所（市開設は3か所・民間開設は23か所）の市民農園があります。2007年度から農業体験や食育等の関心が高まり、市内の農地を市民農園として開設するための支援を始められました。生ごみの堆肥化に伴う家庭ごみ減量や耕作放棄地化の防止等多くの効果をもたらしていました。本市とはまちの規模や環境は大きく違うが、農・食に対する市民の思いは共通していました。視察を通して、行政と市民が民間、JAなど専門分野との協働の取組を行い、耕作放棄地になる前の地域環境を守る取組をすぐに始めるべきだと感じました。



2 10月31日(火) 福岡県豊前市 「空き家対策事業および老朽危険家屋等除去促進事業について」



豊前市では空き家の有効活用や危険家屋等の除去に向けての取組を強化されています。取組の一つ、空き家バンク制度では市が直営で空き家所有者と空き家賃貸・購入希望者の連絡調整を行っておられます。また、老朽危険家屋等除去促進事業として老朽危険家屋の解体費用の一部助成と老朽危険家屋解体後の土地の固定資産税の減免を実施されています。空き家や空き地が増加すれば地域としての魅力や価値を低下させる原因になります。そうならないためにも、行政として土地所有者等に積極的に働きかけを行い、土地所有者と賃貸・購入希望者の調整をすることが求められており、本視察は、新たな街づくりや地域づくりのヒントとなりました。

3 11月1日(水) 福岡県北九州市 「北九州フィルム・コミッション事業について」

北九州市は、まちのイメージアップのためフィルム・コミッション組織を立ち上げられました。北九州フィルム・コミッション事務局では作品や撮影をただ待ってお手伝いをするだけでなく、事前の誘致合戦を勝ち抜くために情報を早く仕入れ、ロケ地を提案され約680作品もの撮影支援をされています。撮影を通じて経済波及効果だけでなく、歴史や文化も含めたさらなる資源の発掘や、映像を通じて故郷の良さを再認識でき、シビックプライド(※)の醸成に繋がっているとのことでありました。



※シビックプライドとは、「地域への誇りと愛着」を表す言葉です。

滋賀大学が実施する講義「哲学対話」と連携し、 新たな形での「議会報告会」を実施しました

彦根市議会では、市政に関する情報を提供するとともに、多様な意見を把握することを目的に定期的に『議会報告会』を開催しております。

今年度は「国立大学法人滋賀大学と彦根市議会との連携・協力に関する協定書」に基づき、国立大学法人滋賀大学が実施する講義「哲学対話」と連携し、参加者と意見交換（哲学対話）という新たな形で議会報告会を実施しました。



第44回に参加した学生の感想

政治家の推しについての意見は、「作れば良い」というものと、「政治に推しを持ち込むのはいかがなものか」というものがありました。私は後者の意見に賛同しましたが、推しを持つことが興味を持つ足がかりになることもあると感じました。



第44回
令和5年12月 1日(金)

テーマ：「自分が"選ぶ"とはどういうこと？」

第45回
令和5年12月22日(金)

テーマ：「みんなの幸せと自分の幸せ」

第46回
令和6年 1月19日(金)

テーマ：「私たちはどう生きるか」

次の定例会は
2月26日開会です

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。
本会議・委員会の傍聴の仕方

- ① 議会事務局（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ② 傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③ お帰りの際、アンケートにご協力ください。

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
2月26日（月）	開 会	9：00
3月 4日（月）	個人質問	9：00
3月 5日（火）		
3月 6日（水）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
3月 8日（金）		
3月11日（月）		
3月13日（水）	企画総務消防常任委員会	9：30
3月14日（木）		
3月15日（金）	福祉病院教育常任委員会	9：30
3月18日（月）	市民産業建設常任委員会	9：30
3月19日（火）	本 会 議	13：00
3月25日（月）	閉 会	9：00